

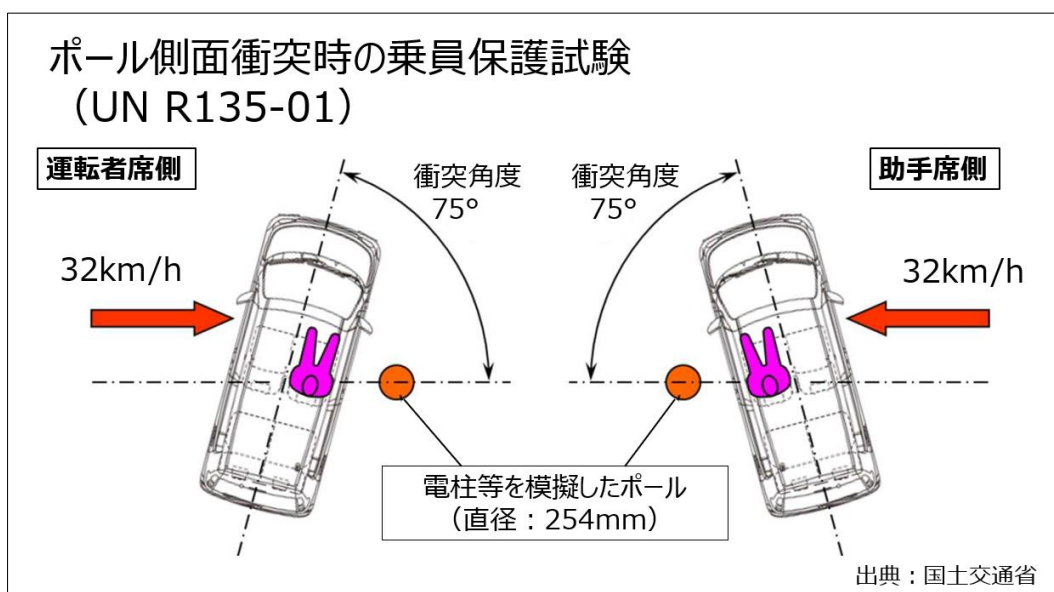
## ダイハツ・ロッキーおよびトヨタ・ライズのHEV車の 認証申請における不正行為について

ダイハツ工業株式会社（以下、ダイハツ）は、2023年4月28日（金）に海外向け車両の側面衝突試験（UN-R95）の認証申請において不正行為があったことを公表しましたが、その後の社内での点検を行う中で、新たに、ダイハツ・ロッキーおよびトヨタ・ライズのHEV車のポール側面衝突試験（UN-R135）に関する認証手続きに不正がある事が判明いたしましたので、本日、出荷・販売を停止いたしました。

お客様をはじめとするステークホルダーの皆様には、多大なるご迷惑をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

ポール側面衝突試験（UN-R135）では、左右の試験を実施する必要があり、その試験データの提出が必要になります。今回、助手席側（左）は立会いのもと試験を実施しました。運転者席側は右側の社内試験データを提出すべきところ、左側のデータを提出してしまいました。

今後の対応などについては、現在確認中のため、改めてご報告させていただきます。



### [対象車種]

	販売開始	累計販売台数 (2023年5月18日時点)
ダイハツ・ロッキーHEV	2021年11月	22,329台
トヨタ・ライズHEV		56,111台

当社としましては、この度の不正は、車の安全に関わる領域での不正であり、社会的に許されるものではないと考えております。経営マネジメントが現場に寄り添えず、法令遵守や健全な企業風土の醸成が疎かになる中で、正しいクルマづくりを見失い、不正行為を発生させたと考えられます。今回の不正行為を単にひとつの業務行為の問題で終わらせることなく、企業グループ全体の理念、行動指針に結びつけた改革となるよう、まずは全員で立ち止まり、不正行為をせざるを得なくなった背景・環境・真因を徹底的に究明、改善・再発防止に取り組み、膿を出し切ることで、二度と同じ過ちを繰り返さない会社と変える決意で取り組んでまいります。

当社は、第三者委員会による事案の全容説明および真因分析に全面的に協力してまいります。また、経営マネジメントは直ちに現場とのコミュニケーションをとり、本音で話のできる職場づくりに注力してまいります。

以上